

第7章 安定した事業運営に向けて

1 投資計画

計画期間内の施設整備の内容は、軌道、電路、車両の整備・更新などであり、計画期間10年間の投資額の合計は約40億円となっています。

【建設改良費の内訳】

(税込単位：百万円)

区 分		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画期間計
建設改良費	軌道費	24	58	186	165		276	146	246	196	197	1,493
	電路費	53			31		16	90	205	67	233	694
	車両費	342	183	251	186	65	267	314	154	35	36	1,833
	機械その他固定資産取得費	1	1	11	18		6	4	2	2	3	49
合 計		420	242	449	400	65	565	553	608	301	469	4,069

※ 平成29年度～令和3年度は決算額，令和4年度は決算見込額，令和5年度は予算額

※ 四捨五入の関係で，計と内訳とは必ずしも一致しません。

○計画期間内の主な施設整備の内容

・軌道費

軌道や安全地帯などの改良工事費です。軌道改良工事や安全地帯改良工事，交差点改良工事などを見込んでいます。

・電路費

架線や電気設備などの改良工事費です。シンプルカテナリー方式への架線張替工事や老朽化した電柱の更新などを見込んでいます。

・車両費

電車車体の購入費や改良工事費です。超低床車の購入と車体改良を見込んでいます。

・機械その他固定資産取得費

工作機械や自動車，パソコンなどの固定資産取得費です。

2 財政計画

区 分		H29	H30	R1	R2
収 益 的 収 入 支	乗 車 料 金 収 入	1,048	980	986	602
	一 般 会 計 繰 入 金	325	331	331	354
	長 期 前 受 金 戻 入	122	116	91	84
	そ の 他	68	53	50	56
	収 入 計	1,563	1,480	1,458	1,097
	人 件 費	611	618	617	607
	退 職 給 付 費	45	14	18	39
	物 件 費	539	487	488	487
	支 払 利 息	12	11	9	8
	そ の 他	357	353	324	314
	支 出 計	1,565	1,482	1,456	1,455
	損 益	△ 2	△ 2	2	△ 359
資 本 的 収 入 支	企 業 債	275	239	354	344
	国 庫 補 助 金	78	2	48	22
	一 般 会 計 繰 入 金	59		34	15
	そ の 他				
	収 入 計	413	241	436	381
	建 設 改 良 費	420	242	449	400
	企 業 債 償 還 金	148	152	152	153
	そ の 他				
	支 出 計	568	393	600	552
資 本 的 収 入 支 不 足 額		△ 155	△ 152	△ 164	△ 171
補 て ん 財 源		221	196	211	230
当 年 度 財 源 過 不 足 額		64	42	49	△ 300
当 年 度 累 積 財 源 残 額		387	429	478	179
当 年 度 末 企 業 債 残 高		1,844	1,932	2,134	2,326

※ 平成29年度～令和3年度は決算額、令和4年度は決算見込額、令和5年度は予算額

※ 四捨五入の関係で、計と内訳とは必ずしも一致しません。

・乗車料金収入

新型コロナウイルス感染症による影響の少ない令和元年度の実績を基準に近年の実績などを踏まえ推計しています。

・一般会計繰入金

主に減価償却費や建設改良費などに係る費用についての繰入金を見込んでいます。

・長期前受金戻入

過去に補助金などを財源として取得した固定資産の減価償却時に、減価償却費相当額が収益化されるもので、実際の現金の収入は伴いません。

(税込単位：百万円)

R3	R4	R5	R6	R7	R8	計画期間計
630	781	855	977	973	968	8,800
508	545	364	402	421	406	3,986
72	60	65	74	71	66	822
64	54	59	61	61	61	585
1,274	1,439	1,342	1,513	1,526	1,501	14,193
611	613	626	624	617	624	6,168
73	51	42	48	52	47	430
496	584	599	509	509	509	5,209
7	6	6	4	4	4	71
341	293	299	357	398	361	3,395
1,528	1,546	1,573	1,543	1,581	1,545	15,273
△ 254	△ 107	△ 230	△ 30	△ 55	△ 44	△ 1,081
65	439	493	504	238	411	3,362
0	67	43	58	34	31	383
0	49	12	43	26	23	263
0	0	0	0	0	0	0
65	555	549	605	298	465	4,007
65	565	553	608	301	469	4,069
179	165	179	203	203	219	1,751
0	0	0	0	0	0	0
244	730	731	811	504	687	5,821
△ 179	△ 175	△ 183	△ 206	△ 206	△ 222	△ 1,813
279	258	271	308	340	257	2,572
△ 154	△ 25	△ 142	73	79	△ 9	△ 322
25	0	△ 142	△ 70	9	0	
2,212	2,486	2,800	3,100	3,135	3,327	

- ・ 物件費

材料費，修繕費，動力費，燃料費，委託料などが含まれています。

- ・ その他支出（収益的支出）

減価償却費，消費税額などが含まれています。

- ・ 企業債

施設整備を行うための財源としての借入金です。

- ・ 建設改良費

投資計画に基づいて計上しています。

- ・ 補てん財源

主に減価償却費などの現金支出を伴わない費用などです。

3 経営の見通し

輸送の安全の確保と将来にわたる事業の安定的な運営のため、車両および軌道の改良事業費を増額することから、企業債残高は平成29年度の約19億円から令和8年度には約33億円に増加する見込みであり、当年度累積財源は令和8年度において約40万円の見通しとなっております。

今後は、将来にわたって持続可能な公共交通網の構築に向けて市電の役割を果たしていくことはもとより、安定的な経営の維持を前提とした利用しやすい料金体系について調査研究を進めていきます。

